

令和5年度業務改善活動事例（転倒・転落による損傷発生率（レベル2以上））

Plan (計画)

【目標】

損傷発生率(レベル2以上): 0.48‰以下

【計画のポイント】

- 身体抑制を必要最小限とし、患者の人権に配慮したケアを行う。
- 入院患者の高齢化が進み、転倒・転落のリスクが高い患者が増加しているため、転倒・転落が発生したとしても損傷が発生させない視点を強化していく。

Do (実行)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Check (評価)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Act (改善)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

令和5年度業務改善活動事例（褥瘡発生率）

Plan (計画)

【目標】d2以上褥瘡発生率:0.05%

【計画のポイント】

【実績分析】令和4年度は、病棟閉鎖や病棟再開により褥瘡リスク患者の移動が多い状況となったが、リスクアセスメントや患者リスクに応じた体圧分散マットレスの適切な使用で褥瘡発生者が低下した。

【計画】

- 褥瘡予防対策、褥瘡リスク評価、診療計画書の作成等のシステム操作研修を全ての看護師に実施する。
- 保有する褥瘡予防マットレスの更新計画を実施評価し、希望部署にはエアーマットレスを1台配置出来る環境を整える。
- 患者の食欲が増進できるポジショニングの研修を実施する。

Do (実行)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

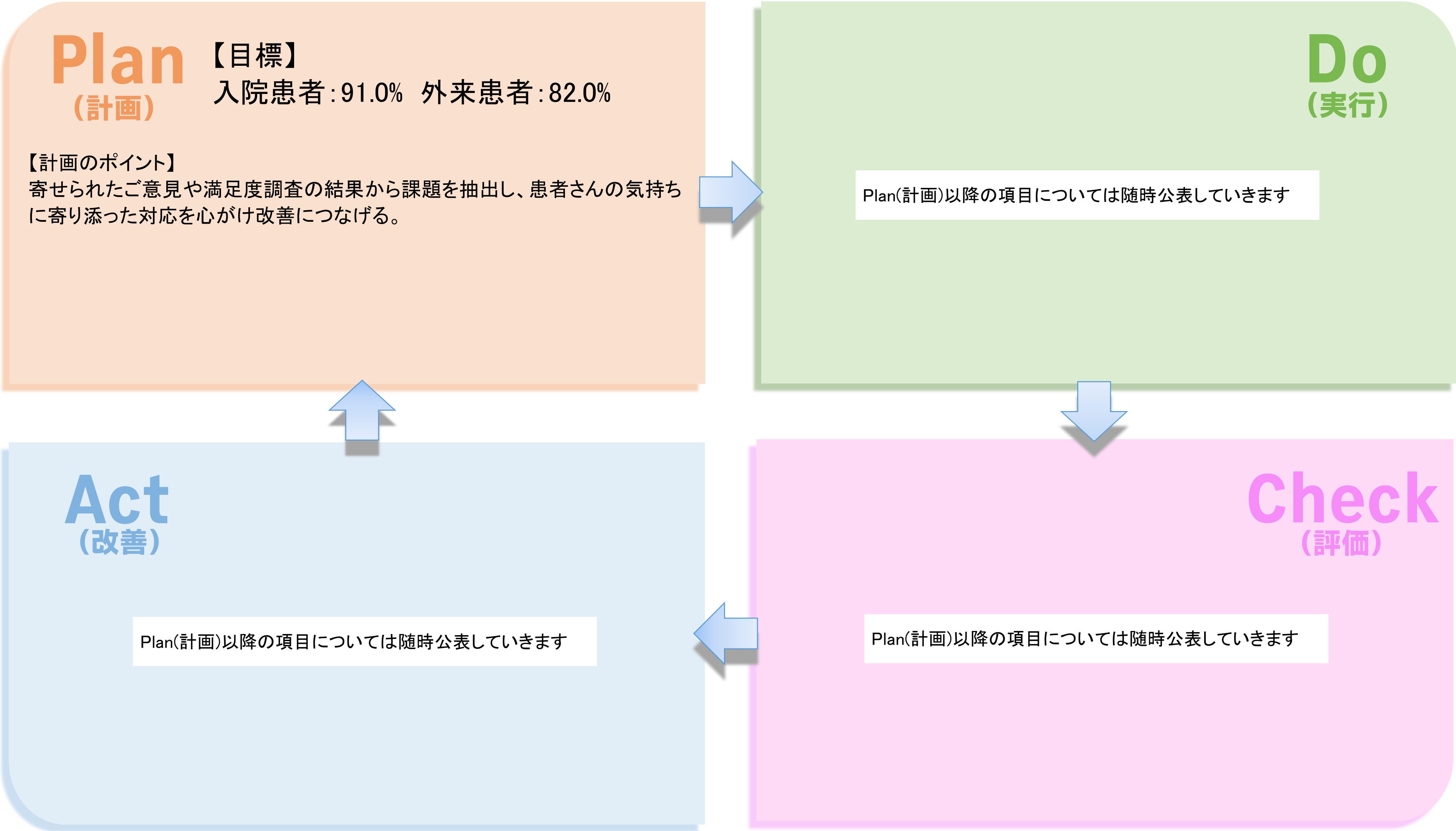
Act (改善)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Check (評価)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

令和 5 年度業務改善活動事例（患者満足度）



令和5年度業務改善活動事例（紹介率・逆紹介率）

Plan (計画)

【目標】紹介率:74% 逆紹介率:94%

【計画のポイント】

個々の診療科の特性を考慮し、地域医療機関との連携を図り、病院全体の紹介率・紹介患者数増加を達成する。また、症状が安定した患者さんの逆紹介を推進し、高度急性期医療を提供する。

Do (実行)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Act (改善)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Check (評価)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

令和5年度業務改善活動事例（救急車・ホットラインの応需率）

Plan (計画)

【目標】救急車の応需率: 93.0%

【計画のポイント】

- 令和4年度(4月～1月)の救急車の応需率は80.2%
- 応需できない理由は「病棟ベッド満床」によるものが62.3%で最も多い。
- 病床マネジメント部門と連携し、効率的な病床運用に取り組む。

Do (実行)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Act (改善)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます

Check (評価)

Plan(計画)以降の項目については随時公表していきます